

「Fine Fiber Technology」を

花王

肌の凹凸を整え、高いシミカバー効果を発現

ベースメイクに応用

花王は、直径がサブミクロンの極細繊維を肌に直接ふきつけることで、軽く、やわらかく、自然な積層型極薄膜を肌表面につくる技術「Fine Fiber Technology」(ファインファイバーテクノロジー)をベースメイクに応用すると、肌の凹凸が覆われてなだらかになり、シミを自然に美しくカバーできることを見出した。今後は、この技術を活用することにより、理想とする仕上がりを叶えるベースメイク商品の提案に取り組んでいく。なお、今回の研究成果は、第71回コロイドおよび界面化学討論会(2020年9月14〜16日、オンライン開催)で発表し、オンライン優秀講演賞を受賞したほか、第25回日本顔学会大会(2020年10月3〜4日、オンライン開催)にて発表している。

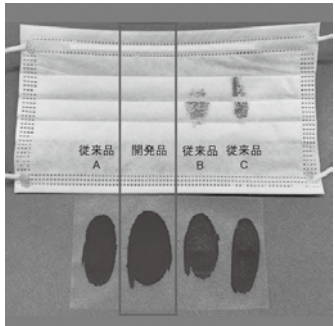
多くの女性にとって、ロジ―における肌の質、つくり、その上からベースメイクアップで叶えたい、感や形状の違いを均一化、スチムや色ムラのなさを整える機能に着目し、シタ塗膜を電子顕微鏡で観察したところ、ベースメイクから、今回は、肌、果を検証した。研究では、まず凹凸の体は、極細繊維が重なり、極細繊維が折り重なった極薄膜を形成する「フある疑似皮膚上にファインファイバーで極薄膜をファインファイバー膜の

コーセー マスクに色移りしない口紅技術を開発

膜の硬さを維持しつつ、唇の動きに追従する柔軟性を兼備

コーセーは、世界最大の化粧品技術発表会「第31回 国際化粧品技術者会連盟(HFSCC) 横浜本大会」にて、マスクをしても色移りせず、長時間美しい仕上がりを維持することができる口紅技術について、「分子デザインされた革新的な新規シリコン皮膜剤による高化粧持ち口紅の開発」(発表者：メイク製品研究室 吉田祥麻氏)というタイトルで発表した。今後は、この技術をポイントメイク商品などに応用していく。

新型コロナウイルスの特に重要な役割を果たす世界的流行によってマスク、皮膜剤の新規開発に取り組む。その結果、色移りや化粧崩れを防止する崩れやマスクへの色移りの悩みが多く聞かれるようになった。そこで同社では、それらの悩みを解消するために、



マスクへの色移りの比較

膜の硬さを維持しながらも、唇の動きに追従する柔軟性を兼ね備えた新規皮膜剤の開発に成功した。効果検証のため、この新規皮膜剤を配合した口紅(開発品)を作成し、従来の代表的な皮膜剤を配合した口紅(従来品A、B、C)との比較を行った。その結果、開発品は従来品に比べて塗布12時間後でも美しい仕上がりを維持できていることがわかった。今後は、この技術を活用した口紅、ファンデーション、日焼け止め等への製剤開発研究や、機能性・使い心地を実現するための素材開発研究を進めていく。

隙間にムラなくみっちり敷き詰められ、定着していた。このことから、ファインファイバー膜がある、少量のベースメイク化粧料でも高いカバ力を発揮できることがわかった。続いて、モデル皮膚上に赤く染色した極細繊維でファインファイバー膜をつくり、その上に緑に発光する粉末を含むベースメイク化粧料を塗布し、蛍光顕微鏡で観察したところ、この塗膜はファインファイバー膜の間に粉末を保持したまま、肌の皮溝や毛穴などの凹部に橋を架けるような状態で重なり合っていることが確認できた。

このことから、ファインファイバー膜の上にベースメイク化粧料を塗布すると、塗膜はまるでハンモックのように肌になじみやすくなり、フィットしながら粉末の肌凹部への落ち込みを抑制し、肌の凹凸を覆って、なめらかな仕上がりを実現することがわかった。

極薄膜の後に化粧剤を塗布、膜は透明になり肌と一体化する

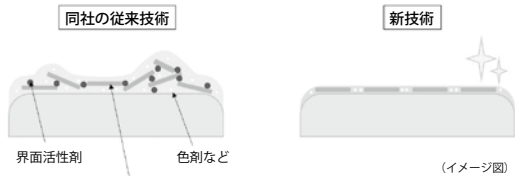


ファインファイバーを肌につける ファインファイバー膜を肌に着させる ベースメイク化粧料を膜の上に塗布する

さらに、「素肌」になるが、シミ部位の肌「ベースメイク化粧料の付着量が大きくなるため、キメは素肌より目立つ結果となった。一方で、ファインファイバー膜にベースメイク化粧料を塗布したところ、ベースメイク化粧料のみの場合は、重ねることでシミ部位と周辺部の色の差が目立っていた。この技術は、うるおった艶やかな仕上がりと肌に密着してマスクにつけない効果も両立する日中用色つき美容液として、11月21日に発売する「マキアージュドラマティックヌードジェリーBB」に搭載されるほか、今後同社の製品開発に広く活用していく。

資生堂 世界初 粉末の特性を最大限に引き出す新技術を開発

資生堂は、水をはじく性質をもつ疎水化処理粉末を油や界面活性剤に頼らずに水に分散する技術を開発し、粉末が本来もつ特性を最大限に発揮させることに成功した。疎水化処理粉末は水や汗に強い性質をもち、主に化粧持ちや発色を良くする目的でメイクアップ製品を中心に多くの化粧品に使用されているが、化粧品に安定的に配合するために油や界面活性剤を必要があり、使用感や仕上がりが、発色などに制限があった。そこで、粉末の特性を最大限に引き出すために、新



●新技術(右)は配向が整い均一な塗布膜を形成

好評発売中！ 2020年度 消費者調査データ CD-ROM

CD-ROM for Windows

その1

3年ごとに同じ内容の調査を実施しており、時系列で今の20代、30代女性のニーズの変化を捉えることができます。

その2

47都道府県の人口構成比に合致し、さらに5歳きざみで103のサンプルを取得しておりますので、まさに今の20代、30代女性の縮図と言えるデータです。

その3

エクセル形式でカスタマイズ可能なローデータを収録。週刊粧業「消費者アンケート2020」(n=〇〇〇)と出所を明示いただければ調査データの引用が可能です。

特典

週刊粧業「消費者アンケート特集号」(2017年、2020年)のPDFデータ付き



50,000円(税込)※送料含む

申込書	2020年度消費者調査データCD-ROM		数量	枚
	住所	〒		
	氏名			
	電話		FAX	

お求めは電話：03-3836-2601 またはホームページ <http://www.syogyo.jp/> より。